

豊岡 鞆の出荷額日本一



① このたび、豊岡市が「国内1位」となったのは、何のことでしょうか？

② 「豊岡かばん」の販売数は、この5年間でどうなりましたか？

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学校高学年～中学生／社会、総合、朝NIE

豊岡市の特産品かばんの出荷額が、市区町村別で国内1位であることが20日までに、経済産業省の調査で分かった。「国内最大の産地」とされていたが、これまでかばんのみの統計はなく、名実ともに日本一に。地域団体商標「豊岡鞆」でさらなるブランド化を進めており、関係者は「今後の振興に弾みがつく」と喜んでいる。

(若林幹夫)

市区町村別、初の調査

同省の工業統計で、京、名古屋、大阪と並 同省にかばんのみの調査はなめし革製品 ぶ国内四大産地とも言 査を昨年12月に依頼。などと一緒の項目で集われ、「日本一」を確 最新となる2013年とされる。これまで東 認するため、豊岡市がの統計を詳しく調べた



2月に開業した「カバンツクリエーション」。メーカーの職人が独立し、工房も兼ねる＝豊岡市中央町(撮影・斎藤雅志)

生産好調、ブランド化に弾み

■かばん出荷額 (2013年、工業統計)

| | |
|----------|------------|
| 1 豊岡市 | 101億9720万円 |
| 2 東京都足立区 | 101億3385万円 |
| 3 大阪市 | 47億2179万円 |
| 4 たつの市 | 40億998万円 |

結果、豊岡市のかばん出荷額が101億9720万円で1位となった。2位の東京都足立区とは約6300万円の差。13年の革製品・かばんなどの項目で、豊岡市は6位だった。

豊岡市では、有名ブランドからの受託生産(OEM)が多い。パブル崩壊後は中国など輸入製品に押されていたが、円安で生産が国内回帰。産地の人手不足が続く中で、かばん製造の従業者が最も多

豊岡市では、有名ブランドからの受託生産(OEM)が多い。パブル崩壊後は中国など輸入製品に押されていたが、円安で生産が国内回帰。産地の人手不足が続く中で、かばん製造の従業者が最も多

兵庫県鞆工業組合(豊岡市)の木和田智成理事長は「全国から人材を集めたいので『名実ともに日本一』が示されたことは大きい。これを機に各社がさらに力をつけていき

い豊岡市への委託が増えているという。

一方、「豊岡鞆」の販売数も14年度は3万2500個と5年間で16倍に。15年度の販売数も1月末で約2万6千個と好調が続く。同市の宵田商店街でデザイナー養成やセレクトショップの拠点施設を運営する第三セクター「豊岡まちづくり会社」と業界が主要都市の商業施設で開くフェアの効果が大きい上、同商店街では、この1年間でかばん専門店が2軒開業した。